

## 職能委員会報告

### 保健師職能委員会

参加者が少ない研修もあるが、事業実施における参加者の満足度は高く、資質の向上も図られ、研修目標は達成できている。令和4年度に新たに取り組んだ「地域包括支援センター保健師・看護師交流会」では、看護職としての役割、多（他）職種との連携など、多くの課題が共有された。また、交流会を通して包括ならではの仕事の楽しさを教示してもらう機会にもなり、エンパワーメントされたという声も聞かれている。アンケートからは、本交流会の継続を回答者全員が希望しており、運営における協力員の要請に8名の希望者があるなど、大きな成果が得られた。

また、これらの事業実施における広報活動を通して、関係機関や関係団体との連携が深められており、保健師職能の協会員数が昨年度より伸びている。

### 助産師職能委員会

CLoCMiP研修はアドバンス助産師更新申請に必要な研修であり、助産実践能力の向上にも役立つ。Zoomではあったが受講生の反応もよく理解度も高かった。また、自由記載では講師への満足度も高く、研修の成果は得られた。交流会では、母子のための地域包括ケア病棟における母子支援体制の4つの機能の考え方について参加者の90%が理解できたと答え、他施設・助産師・看護師の交流・連携づくりを行う必要性については100%必要であると回答があり、交流会の目標は達成されたと評価する。

### 看護師職能委員会領域Ⅰ

働き手が減少する将来に向けて、勤務形態や時間配分の工夫などの多様な働き方の導入により、辞めずに働き続けることができる環境の改善について、制度の活用方法や政策などの情報提供と課題発見を行った。また、地域医療構想における地域包括ケア推進に向けて、各病床機能での看護職の役割発揮や地域との連携に向けて課題の共有を図り、コロナ対応が長期化する状況下での都民や看護職へのサポートにおける課題発見に努めた。

年度当初の計画通りに実施できなかった項目があったが、取り組んだ課題への計画の内容は現場に即したものであったと評価する。一方で、参加者の確保ができなかった部分は課題が残る。

新型コロナウイルス感染症への対応が変化する中、時代に応じた取り組みを再度検討し職能委員会としての課題発見、意見集約を行う活動を中心に積極的に行っていく。

### 看護師職能委員会領域Ⅱ

看護師職能領域Ⅱは、病院に比べ、看護師配置が少なく、看護師一人の職場もあり、業務上の課題解決を見いだすことが非常に難しい環境である。また職場は、在宅・施設（高齢者・小児・障害）・教育・福祉など多岐にわたり、それぞれ課題が違い、それに合った支援をする場が少ない。このため、できるだけ共通する課題を取り上げて研修を行った。

「特定行為制度の基本的な理解と修了者の活用」及び「科学的介護情報システムLIFEでケアの質を上げる」をテーマに実施し、いずれも基本的な理解や知識とその実践を紐づけて理解できる内容となった。また、他組織の取り組みを知ったことで自組織での実践につながり、質の向上に寄与できる研修となった。

## 委員会報告

### 教育委員会

実施した研修後アンケートをもとに、評価を行い次年度の計画の資料とした。研修企画は各委員で検討し4研修を企画した。前年度自ら企画した研修の開催時には、企画した委員も出席し評価を行った。

研修によっては受講者が極端に少ないが、次年度継続する研修に値するかどうかの判断基準がないことが課題である。

### 学術推進委員会

看護研究学会開催実績

テーマ：未来を描くキャリアデザイン ～私どうする、どうしたい?～

開始期日：令和5年1月21日

参加人数：視聴308名

研究発表：演題59件

内容：口演発表、示説発表、看護用具創意工夫、特別講演

計画通りのスケジュール進行とならなかった点があり、発表者からは、「時間が足りない」などの意見があった。学会は、特別講演・シンポジウムが好評でオンデマンド配信を延長した。次年度は参集開催を予定している。

### 医療安全委員会

#### (1) 医療安全管理者養成研修

第1回 申込87名 受講者72名 修了者70名(97.2%)

第2回 申込71名 受講者68名 修了者59名(86.8%)

研修の満足度は、「満足できた」が第1回78%、第2回80%、「やや満足できた」が1回目22%、第2回20%と好評であった。

#### (2) リスクマネジャー交流会

受講者数・修了者数 申込50名 受講者45名

交流会の目的達成度については、「達成できた」「やや達成できた」がともに50%であり、自らの問題解決の糸口になった様子がうかがえた。コメントにも、「情報共有ができたこと」「アドバイスし合えたことが良かった」などの記載があった。

#### (3) 医療安全管理者養成研修修了者フォローアップ研修

1回目58名(参加率82.9%) 2回目は52名(参加率85.2%)

委員会の活動は、計画通りに研修の企画、実施、来年度の準備などを行うことができた。医療安全管理者養成研修は募集人数以上の応募があり、医療機関からのニーズがあると言える。

研修中は、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、研修を一部Zoomに変更するなどの事態に対して、受講者へ早めの状況説明や事前練習を行うなど、適切に対応を行うことができた。

新型コロナウイルス感染症の影響による研修辞退者に対し、受講前は受講料の返金、受講中は補講を実施し、次年度補講も計画をすることで、受講者の不利益を最小限にすることができた。

リスクマネジャー交流会は新型コロナウイルス感染症の第7波の影響で、参加人数は少なかったが、参加者から「リスクマネジャーは孤独になりがちなので、対面で話し合うことの重要性を強く感じた」などの集合対面の良さについての意見が多く聞かれた。

委員会においては、研修の企画、実施のみに限らず、委員が担当した講義の受講生からのリフレクションシートを分析し意見交換するなど、委員自身の医療安全活動のPDCAサイクルの好循環の場となった。

### 社会経済福祉委員会

卒煙サポーター研修 7月3日

看護補助者活用推進のための看護管理者研修 14回開催 計1,251名受講

看護補助者のための研修 8月、11月開催

診療報酬改定による看護補助者の活用推進のための看護管理者研修について、要望が多く実施回数を大幅に増やした。看護補助者のための研修も人気が高くコロナ禍であったが参集研修とした。次回も同様に開催予定である。

看護補助者の活用推進のための看護管理者研修は、受講希望が多く見込まれるため、次年度も5回開催する。

## 看護制度委員会

### (1) 研修会・情報交換会

介護施設での感染予防について、実際の体験談を交えて講義がされ、熱心に受講していた。研修会の後、オンラインでのグループワークを実施し活発な意見交換がされた。アンケート結果でも「大変よく理解ができた」「理解ができた」が合わせて100%、「大変満足」「満足」が94%であった。理解度、満足度ともに高く、開催の目的は達成できた。

### (2) 進学説明会・相談会

今年度は進学説明会と相談会に限定して開催し、受講者14名、うち相談者は7名であった。終了後アンケートでは、受講後「進学を希望する」と回答したのは相談会参加者の100%であり、満足度も「満足」「やや満足」合わせて100%であったことから進学説明会開催の目的は達成できた。

令和4年度の「研修会・情報交換会」「進学説明会・相談会」では、参加人数は目標を下回ったが、受講者の理解度・満足度は高く、受講者の進学やモチベーションアップの支援につながったと考える。

委員から「准看護師に研修の案内が行き届かないことがある」「准看護師の数は減少している」「施設で働く准看護師の年齢が高くなってきている」「進学に対する支援をしている施設は少ない」などの情報があげられた。これらのことも影響し、研修会・説明会ともに参加人数は減少傾向にある。今後は、研修会内容や実施方法、広報の手段なども検討していく必要がある。令和5年度は、研修会・進学説明会・交流会を一体化した研修を企画していく。

## 感染対策委員会

令和4年度東京都感染対策リーダー養成研修 12月4日～令和5年2月20日

令和4年度東京都感染対策リーダー養成研修事業 公開講座 12月12日～令和5年2月2日

令和2年度、3年度に協会事業で実施した「感染対策指導者養成研修」「感染対策マネージャー養成研修」の実施主体が東京都となり、東京都受託事業「感染対策リーダー養成研修」としてプログラムを再構築し研修を実施した。本研修の実施により、都内医療機関における感染防止対策に寄与した。

## 災害対策委員会

### (1) 災害支援ナース養成・更新研修

養成研修 (Web/Live)	5月27日	新規登録者52名	更新研修Ⅱ	7月29日 (Web/Live)	更新者22名
	10月22日	新規登録者127名		12月10日	更新者15名
更新研修Ⅰ	5月28日	更新者45名	更新研修Ⅲ	7月30日 (Web/Live)	更新者32名
	12月9日	更新者78名		10月21日	更新者23名

### (2) 管理者向け災害研修 9月10日 参加者97名

テーマ：災害時に困らないBCP策定について～看護管理者に知ってほしいBCP策定に必要な「病院の体力調査」～

令和4年度も新型コロナウイルス感染症の影響で、一部対面研修からWeb/Liveに変更して実施した。昨年度よりWeb/Liveでの研修を開催しており、トラブルなく実施できた。対面研修のほうが良いという感想も多かったが、Web/Liveは移動時間がなく受講しやすいという意見もあった。新型コロナウイルス感染症の影響により受講者が減少することもなく、例年通りに新規の災害支援ナース登録者を増やすことができた。

令和5年度からの新たな災害支援ナース養成研修の演習内容については、災害支援ナースのリスト化や災害以外の感染症対策に関する内容・講師について東京都との打ち合わせを行う必要がある。また、今後は災害支援ナース養成研修以外の災害対応研修を実施し、東京都内の看護職の災害対応能力向上を図っていく。

## 広報委員会

・135号 令和4年9月30日発行 44,329部 関係者224件 ・136号 令和5年3月15日発行 43,545部 関係者224件

135号よりリニューアルし、印刷冊子はページ数を8ページとし、Webサイトとの連動を強化した。「全文はWebで」と公式Webサイトへの誘導を促し、看護協会事業をWebサイトで閲覧してもらえるような仕組みを作った。閲覧数はまだ多くないが、号を重ねるごとに誌面とWebサイトの連携を周知できると予測している。

保健師、助産師、看護師のページと特集ページは、原稿執筆からインタビュー形式に変更した。これにより、依頼者の原稿執筆負担が軽減されるとともに、人物像の掘り下げや内容の深掘りができるようになったと考える。Webサイトへの掲載にすることで、文字数の制約からもある程度自由になり、読み応えのある内容が展開できるようになった。

タイムリーな情報発信のため、印刷媒体とWeb媒体の効果的な活用を継続検討したい。

## 子育て支援委員会

### (1) プレファミリー講座 10回開催 参加組数398組 (Web/Live)

Web開催であっても双方向性の講座を目指している。ビデオOFFの受講者が多い。受講者の満足度は「大変満足」「満足」が平均99%以上で「わかりやすく参考になる」といった記載が多く、高評価であった。

### (2) すくすく広場 4回開催 参加組数59組 (Web/Live)

受講者は少ないが、事前質問や当日の質疑応答も多く、講義もしっかり聴かれていたことが推察された。受講者の満足度も90%以上が満足と回答。

### (3) 学習会 受講者34名

子育て支援に関わる看護職を対象とした学習会として企画し、参加率94.4%であった。専門的な知識の習得と実践にも活かせる内容であり、アンケートでの評価も高かった。

### (4) 出前授業 小学校3校 高校1校

終了後の生徒の感想文やレポートで、学校側の目的が達成され、講師が伝えたい内容が十分に伝わっていたことがわかった。都民対象の講座は、今年度もWeb/Live開催であったが、参加者の満足度も高く、疑問や不安なことを解消する機会となっていると考える。今後も、講師との打ち合わせ・リハーサルを十分に行い、スムーズな運営を目指していく。

## 地域包括ケア委員会

- ・10月15日 中間活動報告会
- ・令和5年2月25日 令和4年度活動報告会
- ・東京都地域医療構想調整会議 2回開催
- ・東京都地域医療構想調整会議「在宅療養ワーキンググループ」

平成31年4月に地域包括ケアを推進するために委員会を新設した。当初、方向性が定まらず目に見えた活動となっていなかったが、コロナ禍の3年間を除き、地域の課題の明確化とともに活動の広がりが見受けられる。今後は成果や効果を見ながら活動を継続し、看護管理者、施設管理者、多職種との連携を積極的にとりながらさらに発展した委員会としていきたい。

また、令和5年度で委員会活動が5年間となるため、まとめとして報告書の作成を計画している。

## 看護学生学会ワーキンググループ

12月1日～令和5年1月31日 オンデマンド配信 参加者数1,833名

内 容：口演発表、誌上発表、シンポジウム 17演題

アンケート結果では90%がオンデマンド希望となっており、今後の発表開催方法について検討する。

## 認定看護管理者教育課程・教育運営委員会

ファーストレベル第1回	5月16日～ 6月15日	修了者77名
ファーストレベル第2回	11月 7日～ 12月15日	修了者71名
セカンドレベル	8月30日～ 11月 2日	修了者51名
サードレベル	6月20日～ 10月 7日	修了者27名

- ・ファーストレベル、セカンドレベルは定員以上の応募がみられニーズが高い。
- ・サードレベルは組織のトップマネージャーの育成に重要であり必要性は高い。
- ・3課程ともに一定の応募者数、参加者数があり、参加者の評価も高い。
- ・看護管理者の育成は、優先度の高い事業である。

## 看護管理者・看護教育責任者交流会企画委員会

研修 令和5年2月25日 「対応困難と感じる看護学生・看護師の支援方法を考える」 受講者103名

研修の内容は、日常困っていることに即しており、質問も多く有意義であった。偶数年の診療報酬改定に合わせた研修会をこの委員会で開催しているが、開催が妥当かどうか検討したい。